

La Maison

vin trop jeune ?





大好き!

はー

ああ:

はー

スキ

はー



来て!

ふー

ふー

ふー

惣一郎さん
もつと:



わたしを
深く挟って!

奥まで:
もつと奥まで



え？

響子っ…もうだめだ、
で、射精るよ！

ごめん…
もう限界だよ！

ずちゅ
ずっ



うん、いいよ…
そのまま射精して！

あなたの想い
私の臍中に全部ぶちまけて…
なか

惣一郎さん！

La Maison vin trop jeune 2

ああっ…

愛しています…

はあ…

貴方だけを、
誰よりも…

お腹の中に注がれる
熱い脈動があなたの
妻である事を実感
させてくれる。

私の中を貴方で一杯にして
惣一郎さん。
この先どんな事が有ろうとも
あなたへの愛は変わらない、
わたしは変わらない…

なんじやもう終わりか？
だらしない奴よ。

性交時間が短いのは
雄としての精力が足り
ん証拠だな。

ワシも甘かったわい。
愚息とは言え可愛い我が子、
情けをかけてしようた。

跡継ぎは子作りの様子を見てから
と思つたが間違ひじゃった。
やはりこいつに音無家の
将来を任せる訳にはいかん！

ガラ

お、義父さま……！

お前もそう思う
じゃろ？
響子！

夫婦の寝室を覗くなんて、いくらなんでも酷過ぎます。

そんな事ありません！
私は心から惣一郎さんを愛しています。
一緒に居られるだけで十分！

何を言うこれも音無家の将来を思つての所業じゃ。
お前もあの様な性交では満足出来ていまい？

愛などと小ざかしい！

男と女はカラダが満たされてこそよ！

んっ！

ほれ、どうじゃ？
ちよつと弄くるだけでメス汁がいやらしい音をたてて溢れ出る。

お前は強い雄を求めておるのじゃ。

カラダが満たされとらん証拠じゃ！

…んんっ！



何しとるサツサと
啜えんか!

あん!



惣一郎との違い
その唇でたつぶり
味わえ。

クッ
クッ



これを見ろ!
乳繰り合ってるお前らを
見ていたら年甲斐もなく
この有様よ。

このままでは寝る事も
ままならん。
響子お前が何とかしろ!

そ、そんな:

嫁が家長の世話を
するのは当然じゃ、
出来んとは言わせん!



先程まで啜え込んだつた
祖チンとはモノが違うぞ。
心して扱えよ。

ンッ!

ンッ...

...inggッ!

ふふ:
あいつとの行為は前儀
みたいなもの、
ワシが本当の男女の営み
を教えてやる。



もつと奥まで啜えんか！
本物の雄の性器が
欲しかったんじやろ？
望み通りか臍腑の奥まで
掻き回してやる！

ヤ

ング！

ゴツ：

グボツ！



男を味わうなら
これぐらい奥まで
啜えんと判らん
じやろ！

ンゴツ！

ゴツ：

苦しい：

ニン：

これがお前の欲し
がつている
強い雄の生殖器じや、
頭の中に叩き込んで
おけ！！

形、匂い、温度
五感を使って
カラダに覚え
させるのじや

い、息ができな：

イヤ！
口の中がお義父さま
の臭いで一杯になっ
ちやう！

ング

雁首から裏筋まで
舌で丹念にチンカス
を舐め採るのじゃ。

うそ、私
何してるの？

龟头を啜え尿道
を思い切り吸い上げ
先走り汁を飲み込め

こんなの本当は
嫌なのに何で？？

男を喜ばせるには
喉全体を使ってマラを
愛撫し扱き上げるの
じゃぞ！

これから
ワシがたっぷり
仕込んでやる。

：ングッ！
ンンン…

ンッ：

どほっ
どほっ

失望させるなよ響子。

お義父さまの
言われるままに
カラダが勝手に
動いちゃう。

女の価値は男を如何に
楽しませるかで決まる、
お前にはその素質があると
ワシは見ておるのじゃ。



どれ見せてみる！
ほろい面構えじゃな。
待ち望んだチンポを啜えて
発情したメス顔になって
おるわい。

その惚けた面を
惣一郎にも見せてやるか、
奴めどんな顔をするかな？

フー

フー

フー

フー



これでハッキリしたじやろ
お前にはワシのチンポが
必要なんじや。

ングツッ！

じゃが気に病む事はない、
雌が強い雄に惹かれるのは
強い遺伝子を残そうとする
自然の摂理よ。

音無家の家長である
ワシに従っていれば
間違い無いのじやよ！

ンゴツッ！

判ったか響子！
お前はワシの子種で孕むのじや、
音無の血筋を絶やすで無いぞお！
オオオオツッ！

ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

ズズズ
ズズズ
ズズズ

ゴゴゴ



グッ!

ンク!

こぼすでないぞ、
残さず飲み込め!



ホホホ：
出るわ出るわ！
夫の薄い精液と比べて
ワシの濃い漢汁は
美味かろう？
腹一杯喰らえよ！



惣一郎め、
嫁の躰がなって
おらんか！



何をしているまだ
終わっていないぞ！
残りの精液を吸出
し処理をせんか！

あっ、
いや…



これで子種を授けて貰う
のだ、感謝を込めて丹念に
しゃぶれよ。

はい…
お義父さま。



仕方ない、
奴の代わりにワシが
嫁としての所作を躰て
やるぞ響子。

射精後の男根を舐め、
清めるのは情けを受けた者
の仕事じゃからな、
心しておけ。

わ：判りました。



ああ、早く終わらせないと
惣一郎さんが起きちゃう
かも？
こんな処見られるたら…



では、その壁に手を着いて尻を向けろ!

ご苦労じゃったな響子。

時間も時間じゃし今日はその辺で良からう。

よかった、やっと終わった。



えっ?

なんじゃ、もう終わりだと思ったか?

本番はこれからよ、しっかり種付けしてやるぞ!

一回射精したぐらいでこのワシが萎えるとも考えていたのか? 惣一郎なんぞと一緒にするな!

子袋が空になるまでな!

えーい！
とつとつ尻を差し出せ！

きゃー！

いや…お義父さま。

止めてこんな所で、
聞こえてしまいます。

アアッ！

イ、イヤー！

何を今更、お前らの情事を
ワシにあれだけ聞かせておいて
言う言葉か？
聞かれたくないのであれば、
お前が我慢すれば良いで
あろう！

もつとも
コイツを喰らって
我慢出来たらばの
話じゃがな。

惣一郎との違いを
カラダに刻み付けてやる
氣をしつかり持てよ
響子！



…アアツ！
アン！

ンゴン！！
ングツ！！
：

ヒツ！

それで何時まで
耐えられるかのう？
試してみるか！

如何した、
声が出ておるぞ。
聞かれてはマズイの
ではないか？



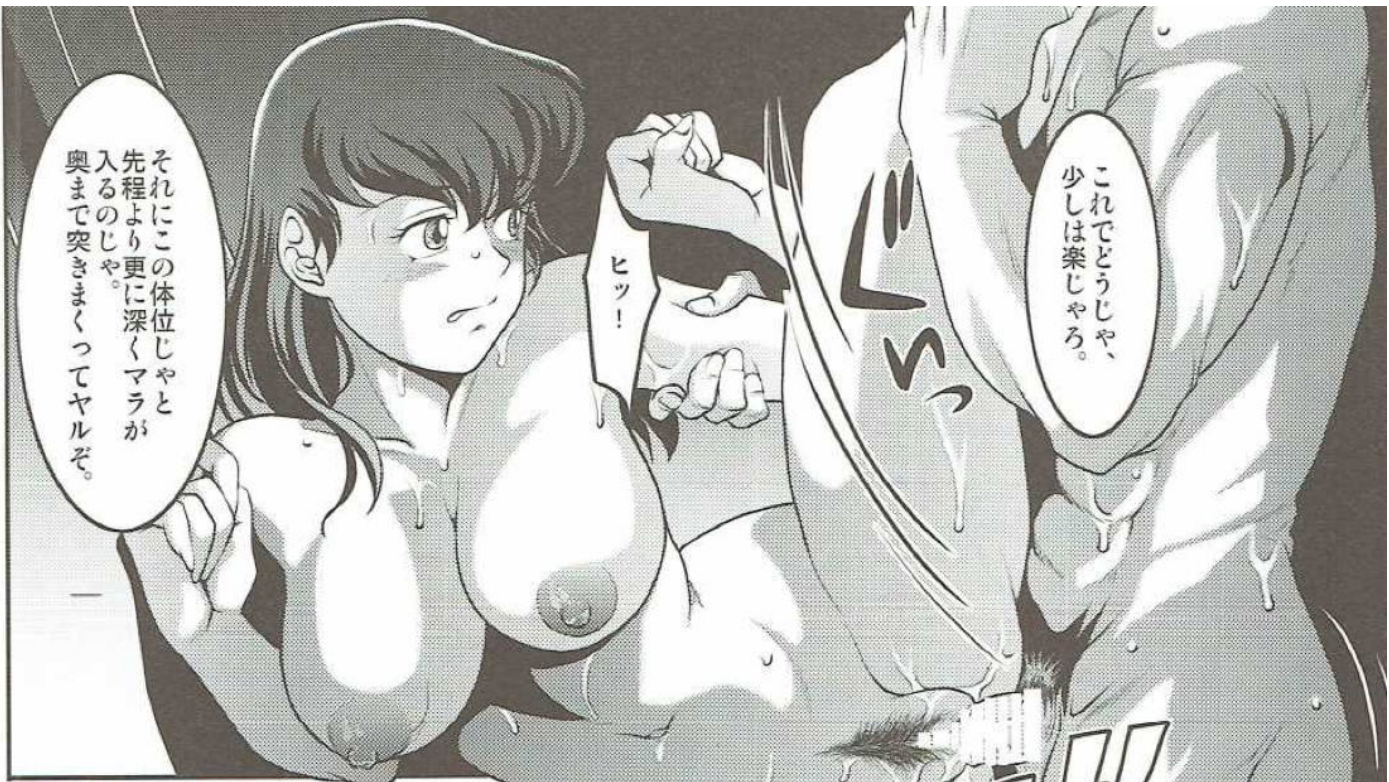
それ見たことか、
コレが良いのじゃろ？
ワシのマラが欲しかったの
じゃろうが！
下の口から涎が溢れて玉袋
までべちゃべちゃじやわい。

ほれ、こつちを向かんか！
交尾快感にうれし涙を流す
メス顔を見せてみる。



しつかり踏ん張らんか、
足が震えておるぞ。

もう腰が抜けそうか？



これでどうじゃ、少しは楽じゃろ。

それにこの体位じゃと先程より更に深くマラが入るのじゃ。

ヒッ!

ガッ



や、イヤ! 奥はダメ

ほれ、ほくれ



惣一郎とはこんなことは出来まい。ここまで奥を突かれるのは初めてか? 膣壁がキツイ程マラを絞め付けて来よるぞ。

こんな激しいの初めてこれが同じセックスなの? 全然違う...

スゴイ突き上げ、奥まで響いて子宮が揺さ振られるみたい...

ドス

ドス

ようやく気付いた様じゃな

な、何のことです？

ワシと言う強い雄との
性交を欲している
己自身にじゃ。

惣一郎とはけっして
味わえぬ本物の快感をじゃ！

そんなもの知りたく
もない！
私は惣一郎さんだけ
いればそれで十分。

アアアア



ではその言葉、
直接奴に聞かせてやる
とするかのう。

今もワシのマラを
締め付けて離そうと
しないではないか？

頑固な嫁じゃな、
口では拒んでも
カラダはそうは
言っとらんぞ。





愛しい旦那とこ対面
じゃ、何をしとるかよーく
見て貰うんじゃない。

ああ：

嘘、こんなの嫌：

こんな姿を見られたら：
言い訳出来ない。
私どうしたら…！

強いオスに抱かれ
喜ぶメスの顔
これがお前の
在りのままの姿よ！

他の男に抱かれながら
亭主の顔に淫汁を滴らせ
ておろうが！

イヤ！



聞かれたくないなら
ワシが何とかして
やるぞ？

惣一郎もそんな艶声
聞かされてはさぞや
夢見も良からうて。

アッ



イヤよイヤよも何とやら
カラダはすっかりワシの
虜よ。

アッ：

イヤッ！

そくれもつと
滴らせよ。

アアッ！



惣一郎さんごめんなさい、
今はこうするしかない



聞かせたく無い
この声を

お願い
起きないで、

あなたとの暮らしを
守るには音無の一員
である為には
お義父さまの言い成り
になるしかないの！



こんなわたしを
見ないで下さい。



淫らに乱れ狂う獣の様な姿を！

んぐっ！
んぐっ！



んぐっ！
んぐっ！
んぐっ！

んぐっ！
んぐっ！
んぐっ！

ようやく観念したか、
余計な手間を掛けさせよって
これでやっと種付けが出来る
と言うもの！

ついでじゃ臍腑の中も
ワシの汁で満たしてやる
わい。

よーく覚えておけ、
これがお前の真の主人の
味じや。
味わって飲み込め！

下の口にもたっぷり
注ぎ込んでやるわい。

さくでそれでは
本題といこうか、
お待ちかねの
子作りじや！



やはり種付けにはこの体位が一番じゃな。

押さえ付けた女の尻に思い切りマラを打ち込む醍醐味。

アキョアキョ

これが
本当の子作りじゃ！
雌の子宮に狙いを定め
魂を込めてマラを突き
立て
己の遺伝子を注ぎ込む
正に男の本懐！



んふう！
ふー



我が命
受け取るが
よい！

ゆくぞ
響子！

とっ! とっ!

孕め響子!

とっ! とっ!

子宮いっぱい
満たしてやる、
たっぷり喰らえ!

ヒギツ

ワシの児を孕め、
それがこの家に嫁いだ
お前の運命じゃ。
孕め、孕めっ、
孕めッ!



惣一郎よ、
良い嫁を買ったな。

この女、苗床として申し分無いぞ。
良い跡取りが産めそうじゃ、
これで我が音無家も安泰じゃな。



後は耕し収穫
するのみじゃ。

奥付

La Maison Vin trop jenué 2

我楽多屋
garakutaya0@gmail.com

2016/08/14 発行
印刷 (有)ねこのしっぽ 様

我樂多屋 GARAKUTA-YA

La Maison
vin trop jeune 2